

大仙市アーカイブズ ニュースレター

第13号



大仙市マスコットキャラクター
まるひちゃん

新着資料展「田口松圃家資料」 ～見どころを紹介します～

近代の大曲・仙北を代表する人物の一人で、文化人・政治家として幅広く活躍した田口松圃の足跡をたどる資料展を、8月20日（土）まで開催しています。

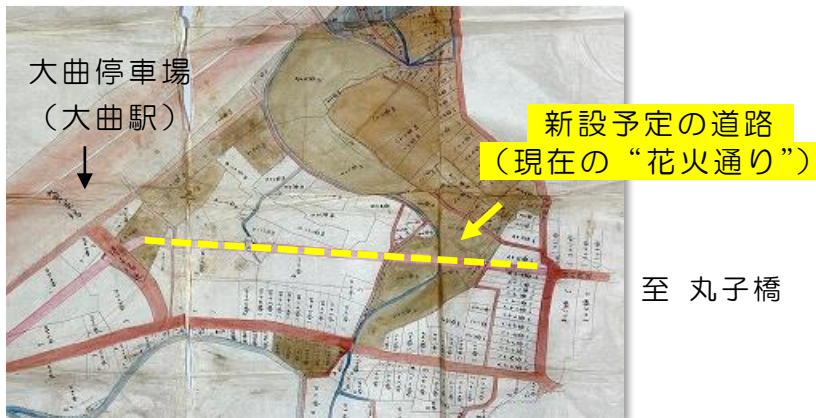


期間：5月17日（火）
～8月20日（土）
会場：大仙市アーカイブズ

見どころ① 田口家資料から見えてくる大曲の近代

松圃の生家である田口惣左衛門家は、大曲有数の名家。大曲の歴史を知る上でも重要な資料が多く残されていました。

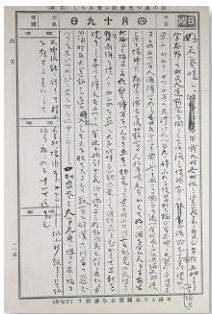
大曲駅前の新道開通計画図（明治）



至 丸子橋

大曲駅から丸子橋までの新しい道路が計画されたことが分かる図面。この新道は、松圃の祖父、田口岩蔵が中心となって整備費を負担して完成したと言われている。

日記（明治41年 焼き討ち事件当日）



皆打ち揃ひ金谷野に出懸くる。集まるもの五六百人、酒樽山の如し。

この夜警鐘耳をつんざき…川上邸宅に火起き次に両隣を焼けり。ポンプを監し、大声叱呼急馳風走…

明治41年4月19日、裁判所の横手への移転に反対する決起集会が金谷野で行われたが、その夜、移転推進派の人物の自宅が放火により全焼する“焼き討ち事件”が起こる。日記からは、決起集会の盛り上がりや、火災発生後の緊迫した様子が伝わってくる。

（見どころ紹介 次のページに続く）



たぐち しょうほ
田口 松圃
1883（明16）
～1956（昭31）

本名謙蔵。大曲に生まれる。東京専門学校で坪内逍遙に師事し、帰郷後の明治39年に俳誌「まるこ川」、翌年、文芸誌「白虹」を創刊したほか、仏画鑑賞にも熱心で、多数の美術家や俳人・文人と交流した。大曲町長（大正14～昭和6年）や県会議員（昭和12～14年）のほか、仙北新報社（現在の秋田民報社）社長も務めた。古四王神社の改修や払田柵の発掘など、文化財保護にも尽力している。昭和23（1948）年に県重要美術調査委員、同26（1951）年から県文化財専門委員となり文化財調査に努め、委員長として幅広く活躍した。

新着資料展
「田口松圃家資料」
8月20日（土）まで開催中
ぜひお越しください
（入館無料）

見どころ② 画才 文才 審美眼… 多才な文化活動

幼少時から非凡な才を現していた松園。「まる古吟社」設立に代表される文芸活動のほか、仙北新報を通じての執筆活動、美術品の収集、文化財の調査など幅広く活躍しました。



褒状 (明治 23 年)

松園 7 歳の時に出品した日本画「墨梅」に対して秋田伝神画会から贈られたもの。

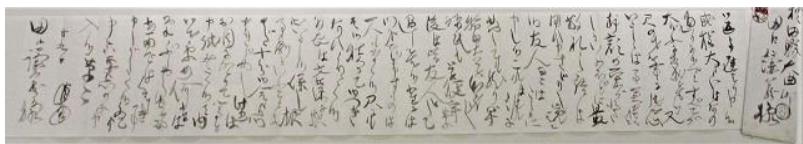


はっこう 白虹 第 11 号 (明治 44 年 大曲図書館所蔵)

赤川菊村、伊藤秋田坊らとともに、明治 40 年に大衆文芸誌『白虹』を発刊。佐佐木信綱、与謝野晶子、高浜虚子、島村抱月、田山花袋など、著名な作家の作品も掲載されるなど、中央の文芸誌かと思われるほどの陣容であった。

見どころ③ 資料に登場する多くの著名人

様々な分野で活躍した松園。坪内逍遙、柳田国男、高浜虚子、石井露月など、多くの著名人との交流の記録が残されています。



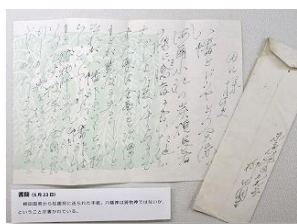
坪内逍遙からの書簡 (明治 41 年)

大学時代、坪内逍遙を師と仰いだ松園。帰郷後も交流は続き、逍遙からの書簡が残されているほか、日記にもその名がたびたび登場する。

展示資料に登場する人々

柳田清兵衛	小西伝助	石井露月	高浜虚子
平福百穂	伊藤秋田坊	坪内逍遙	柳田国男
河竹繁俊	小場恒吉	内藤湖南	赤川菊村
菅原白龍	鈴木百年	高橋萬年	(展示順)

柳田国男からの書簡 (年不明)



八幡神は鋳物神ではないか、という柳田の見解が書かれている。

来館ありがとうございました

- ・由利本荘市上川地区町内会長会 (4月15日)
- ・西仙北小学校2年生 (6月9日)



元気いっぱいの
小学2年生

いべんと瓦版

夏休みこども講座

探検！発見！大曲駅前今むかし

日時：7月29日(金) 10時～11時30分

場所：はなび・アム 大研修室

(詳しくは広報だいせん7月1日号をご覧ください)

